

令和3年度第2回 関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議 事 概 要

- 1 開催日時：令和4年3月4日（金）14時00分～15時00分
- 2 開催場所：MicrosoftTeams（オンライン会議）
- 3 出席委員

委員長	池田耕一	（一社）経営倫理実践研究センター	首席研究員
委員	赤松幸夫	弁護士	
〃	大野正英	麗澤大学 経済学部	教授
〃	岡本直久	筑波大学 システム情報系	教授
〃	山田務	筑波大学 ビジネスサイエンス系	客員教授

（委員は五十音順）
- 4 議 事
 - （1）関東地方整備局発注者綱紀保持マニュアル一部改正（案）について
 - （2）令和4年度関東地方整備局コンプライアンス推進計画（案）について

5 議事概要

意見・質問	回 答
（1）関東地方整備局発注者綱紀保持マニュアル一部改正（案）について	
①業務契約の情報管理について、実態を伺いたい。今回の改正でより厳正な情報管理が行われるようになるのか。	これまでも工事契約に準じてマスキングを実施していました。今回の改正で工事契約と同様に情報管理責任者を定めるなど、厳正な情報管理を行っていくこととなります。
（2）令和4年度関東地方整備局コンプライアンス推進計画（案）について	
①今回、全体的な見直しを行ったことで、記述内容が体系的で分かりやすくなった点について評価したい。	
②本局及び事務所での取組に関して、削除された文言があり、本局での取組が後退、消極的になったようにも受け止められる。	本局及び事務所での取組は、これまでどおり継続して実施していく考えであり、取組そのものを後退、消極的にする意図はありません。ご指摘のあった箇所の表現ぶりについては、改めて検討していきます。
③テレワークや Web 会議が多くなり、電子データを扱う機会が増えている。情報漏えい防止について、繰り返し注意喚起を実施した方が良いのではないか。	情報セキュリティの重要性については、機会を捉えながら繰り返し周知していきたいと考えています。

【その他の主な意見】

- ①「風通しのよい職場づくり」とは組織風土に関する事柄であるが、現在進めている各種取組を継続すると良い。
- ②組織全体でコンプライアンス意識を強く持ち続けるためには、組織のトップの意識が大事である。

以上